

基礎看護学

専門分野

(令和4年度1年生用)

|         |   |      |         |       |           |             |  |
|---------|---|------|---------|-------|-----------|-------------|--|
| 授業科目    | 看護理論の基礎   | 講師   | 氏名      | 清水 京子 | 開講年次      | 単位・時間       |  |
|         |   |      | 所属      | 専任教員  | 1年次<br>後期 | 1単位<br>15時間 |  |
|         |   |      | 実務経験    | 臨床看護師 |           |             |  |
| 科目のねらい  | 看護理論は、看護を实践するうえで重要な意味を持ち、実践の中に存在するものである。この科目では、まず看護理論の必要性和代表的な複数の看護理論の概要について学習する。そして、さらに詳しく学ぶために、1つの看護理論を取り上げる。ここでは、ロイ適応理論を挙げ、「適応システムとしての人間」について理解を深める。 |      |         |       |           |             |  |
| 到達目標    |   |      |         |       |           |             |  |
| 知識・技術   | 1. 看護理論の必要性について説明できる。<br>2. 代表的な看護理論家を複数取り上げ、その特徴的な看護理論について、人間・健康・環境・看護を視点にまとめることができる。<br>3. ロイ適応看護理論の概要を説明できる。   |      |         |       |           |             |  |
| 思考判断・表現 | 1. 看護理論を基盤に実践する看護と理論的基盤を持たず実践する看護を比較し、看護理論の果たす役割を説明できる。<br>2. 各看護理論を比較検討し、特徴の違いが看護実践に与える影響を考察できる。<br>3. ロイ適応看護理論を基に、3つの刺激を捉えることは、予測した看護につながることを説明できる。   |      |         |       |           |             |  |
| 主体的学習態度 | 1. 興味を持つ看護理論家の文献を抄読する。<br>2. 講義で提示された課題について、グループメンバーと積極的に意見交換ができる。<br>3. 自らの解釈と他者の解釈を比較検討し、受容していくことができる。  |      |         |       |           |             |  |
| 科目評価    | プレゼンテーションのグループ評価  | 20%  |         |       |           |             |  |
|         | 随時課題  | 30%  |         |       |           |             |  |
|         | 最終課題レポート  | 50%  | 合計 100% |       |           |             |  |
| テキスト    | ロイ適応看護理論の理解と実践 第2版 (医学書院)<br>ナーシング・グラフィカ 基礎看護学① 看護学概論 (メディカ出版)  |      |         |       |           |             |  |
| 参考文献    | ケースを通してやさしく学ぶ看護理論 (日総研)   |      |         |       |           |             |  |
| 回数      | 教育内容  | 教育方法 |         |       | 講師        | 関連科目        | 留意事項   |
|         |   | 講義   | 演習      | その他   |           |             |  |
| 1       | 看護理論の概要<br>1. 看護理論が必要な理由<br>2. 理論の範囲<br>3. 看護学のメタパラダイム  | ○    |         |       | 清水京子      | 各専門看護学      | 看護理論のプレゼンテーション<br>1) 代表的な看護理論家を8名提示<br>2) 8つのグループを編成し、グループごとに理論家1名を選定<br>3) グループワークを計画的に行いプレゼンの準備をする<br>4) 詳細は講義の中で説明する。 |
| 2       | (概念的枠組み)<br>4. 看護理論の発展  |      | ○       |       |           |             |  |
| 3       | 代表的理論家の看護理論を<br>プレゼンしよう   |      | ○       |       |           |             |  |
| 4       | ロイ適応看護理論へようこそ   | ○    | ○       |       |           |             |  |
| 5       | 1. 適応システムと人間  | ○    | ○       |       |           |             |  |
| 6       | 2. 刺激と行動、適応レベル  | ○    | ○       |       |           |             |  |
| 7       | 3. 適応を促す看護  | ○    | ○       |       |           |             |  |
| 8       | 4. 対処プロセスと4つの適応様式<br>5. 適応システムと看護<br>6. ロイ適応理論と看護過程   | ○    | ○       |       |           |             |  |
| 備考      | 臨床(病院)での看護師の実務経験をふまえ、臨床に則した授業・演習を行います。  |      |         |       |           |             |  |